

## 口頭⑤

### 挑む！ 食事療法 ～腎疾患患者に対するアプローチ～

尾久ミキ薬局  
○米澤 里沙子

#### 【目的】

尾久店は透析を受ける患者様の来局が多い店舗である。しかし、食事療法に関する的確なアドバイスが十分に実施出来ていないという現状があった。患者様のニーズを理解したうえでお店全体としてより良いアドバイスが出来ることを目的とした。

#### 【方法】

- ① 腎疾患患者へのアンケートの実施
- ② 東京女子医科大学東医療センターの管理栄養士との情報交換会の実施
- ③ アンケート結果をもとに資料作成と販売商品の選定
- ④ 職員に対する勉強会の実施

#### 【結果】

アンケート結果から、食事に関してお悩みの方が多いことと、栄養指導が十分にされていないこと、患者様のニーズに合わせた情報が用意されていないことがわかった。また、食事に関して患者様からアドバイスを求められていても食事療法について勉強する機会が得られず、服薬サポートの充実を図れていないこともわかった。

病院の管理栄養士との情報交換により得た情報とアンケート結果を反映させた資料や商品を用意し、店舗内に腎疾患患者向けのコーナーを作成した。

また職員に対しては勉強会を実施し、食事療法に関する知識向上を図った。

#### 【考察】

研究を行ったことで、患者様のニーズに合わせた情報提供の重要性を再認識することが出来た。そして今後も定期的に病院との情報交換の機会を設け、栄養指導に関しての新しい風を薬局の中に入れたいと考えている。

この先薬剤師も積極的に食事療法を行っていくことで、多職種連携の実現が可能になるだろう。そして患者様の生活により密着した服薬サポートを目指したいと考えている。